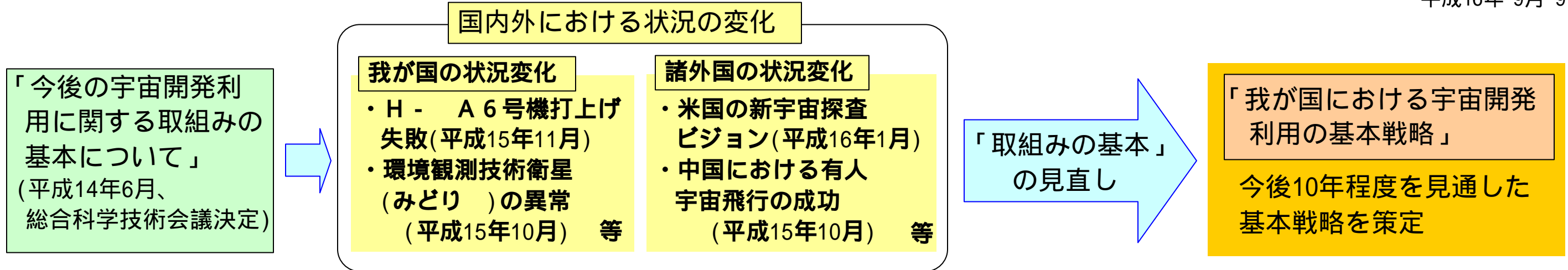


我が国における宇宙開発利用の基本戦略



我が国における宇宙開発利用の基本戦略(概要)

宇宙開発利用の意義・方針

- ・ 意義は、**国家戦略技術としての重要性**、我が国の総合的な安全保障への貢献、地球・人類の持続的発展への貢献及び国際社会における我が国の地位向上に貢献。
- ・ 我が国が必要な時に独自に宇宙空間に打ち上げる能力を将来にわたって維持することを基本方針。**信頼性の確保を最重視し、基盤的技術を強化。**

基幹技術と重点化戦略

- ・ 国の持続的発展の基盤となる重要な科学技術(我が国の比較優位性確保、自律性の維持、経済社会への広範な波及効果を有する技術)のうち、宇宙開発利用を俯瞰し、ロケット技術などさまざまな要素技術を統合した宇宙輸送システム技術等を、**基幹技術と定義。基幹技術を最重点分野として推進。**

安全保障・危機管理の分野における取組み

- ・ 宇宙を**安全保障・危機管理の分野**で平和的に利用することは、我が国の**総合的な安全保障に大きく貢献。**
- ・ 国会での決議・議論等を踏まえた上で、国内外における政治・経済・社会情勢の変化と国際法上の宇宙の平和利用原則を踏まえた各国の宇宙の平和利用の状況を念頭におきつつ、我が国としての平和利用のあり方について議論することが必要。

衛星系の推進戦略

- ・ 情報収集衛星、安全の確保に必要な情報収集・解析技術の高度化に関しては、**着実に研究・開発・運用を推進。**
- ・ 衛星測位システムのあり方については、当面の目標として、**国はリスクの高い測位補完・補強等に係わる研究・開発・実証**を着実に推進。整備・運用に関する国の関与のあり方についても、**実証終了までに速やかに決定。**

H - A ロケットの位置付け

- ・ 我が国が必要な時に独自に宇宙空間に必要な人工衛星等を打ち上げる能力を維持するためのロケットを、**基幹ロケットと定義。**
- ・ **H - A ロケット**は、再点検の結果等を踏まえ、**信頼性の確保を最重視した新方針のもとに確実な打上げを可能とする万全の対策を講じた上で、改めて我が国の基幹ロケットとして明確に位置付け、適正に運用。**

有人宇宙活動への取組み

- ・ 国際宇宙ステーション計画は、有人宇宙技術蓄積に不可欠なため**着実に推進**。米国の新宇宙ビジョンの具体化による影響等計画推進上の想定すべき事態に対して、**適切な対応を予め検討。**
- ・ 当面(10年程度)は**独自の有人宇宙計画は持たないが、長期的(20~30年後)には着手を可能とすることを視野に入れた取組みを実施。**